

□議員名：森山喜久

1 市職員の働き方・休み方について

論点	市職員の労働時間の管理方法はどのように行っているのか。
回答	I Cカードについてはこの2月から導入をしているが、勤務時間の管理ではなく庁舎管理の観点から、鍵として導入している。パソコンのログをデジタル推進課だけでなく、人事課でも管理できるよう仕様変更をした。

論点	年休の取得状況はどうか。
回答	令和5年度は速報値で平均11.8日。令和4年度が10.5日であり平均で1.3日増え、過去最高となっている。取得が5日未満は令和4年度は29%だったが、令和5年度は23.5%で、若干の改善が見られた。

論点	恒常的に残業している職場があるが、全体のボリュームを確認した人員配置、もしくは協働、応援体制をして業務の平準化を図るべきではないか。
回答	新しい取組で、昨年より事務応援制度を入れている。閑散期の部署の職員が繁忙期の部署を手伝おうという仕組みで令和4年度では延べ100名の職員が忙しい部署に応援に入っている。役所内で協力し合いながら、できるだけ業務を平準化させ、時間外を減らしていく取組は行っている。